2020年度　なでしこ保育園　全体的な計画

保育理念（事業運営方針）	命を守り、丈夫な体と健やかな心を育むために、職員の専門性と和をもって家庭との連携を基に子どもの発達と保護者の支援を行う また多くの卒園児とその家庭との信頼関係の中で地域に根ざした保育園を目指す
保育方針	かけがえのない乳幼児期に安定した園生活が送れるように子ども一人ひとりと向かい合った保育を進める

保育目標	幼児期の終わりまでに育ってほしい10項目
①思いやりのある子	ア：健康な心と体　イ：自立心　ウ：協同性
②みんなと仲良く遊べる子	エ：道徳性・規範意識の芽生え　オ：社会生活との関わり
③意欲のある子	カ：思考力の芽生え　キ：自然との関わり・生命尊重
④話を聞ける子	ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
⑤自分の気持ちを伝えられる子	ケ：言葉による伝え合い　コ：豊かな感性と表現
⑥考えて行動できる子	

保育の特徴	かわいがり保育（甘えを受容し、肌の触れ合いを通し応答的に子どもと関わる）			よりそい保育（自分でやろうとする気持ちを認め、思いに共感したり見守りながら子どもに関わる）			
クラス	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	年少クラス		年中クラス	年長クラス
年齢（～の時期）	0歳（応答的な肌の触れ合いの時期）	1歳（応答的な手助けの時期）	2歳（応答的な伴走の時期）	3歳（応答的な見守りの時期）	4歳（共感的な手助けの時期）	5歳（共感的な伴走の時期）	6歳（共感的な見守りの時期）	
年齢別保育目標（0～年長児）	個人差に応じた生理的欲求を十分満たし、安定した応答的な生活の中で愛着関係を築き、情緒を安定させる	探索活動を十分し、周囲の人や物への興味関心を広げ、意欲へとつなげる	喜怒哀楽を十分表現でき、象徴機能や観察力を発揮して遊びを広げることができる	・友達との関わりの中で保育士の仲立ちにより相手の気持ちに気付き共感できる	・友達や集団での遊びを通して他人の存在や立場を知り、思いを共有し合い、解決しようとする	・自分の気持ちを言葉で表現できるようになり簡単なルールや決まりを守りながら友達関係を築き集団行動ができる	・生活や遊びの中で一つの目標に向かって力を合わせて活動し、達成感や充実感を味わう ・相手の気持ちを察したり自分で考えて判断する力を養う	イウエ
養護 生命の保持	生理的欲求を満たし、1日24時間を視野に入れ安定した生活リズムを作る	健康で安全な生活ができるような環境の中で、応答的な関わりを通して生理的欲求を満たされるようにする	安定した園生活を送る中で、簡単な身の回りのことを自分でもやってみようとする	依存から自立の時期なので身の回りのことなどやり方を覚え、保育士が手伝いながら自分でできるようにする	保育士との安定した関係の中で基本的生活習慣が身につくようにする	基本的生活習慣を身につけ意欲的に生活できるようにする	基本的生活習慣が身につき、見通しを持って生活できるようにする	アイ
養護 情緒の安定	応答的な触れ合いにより愛着の絆を形成する	子どもの気持ちを受容し、共感しながら信頼関係を築く	・自己主張を自我の順調な育ちと理解し、さりげなく援助する	・心身の状態に応じてきめ細やかに対応し意欲的に活動できるようにする	・子どもが主体的に活動し、自分への自信や自己肯定感を育めるようにする	・保育士との信頼関係を基盤に一人一人の子どもが主体的・自発的に活動できるようにする	就学を意識した生活の中で自己肯定感が育ち仲間との一体感を感じながら自信を持って活動できるようにする	イウ
教育 3つの視点		5領域						
教育 健やかに伸び伸びと育つ《身体的発達》	・寝返り、ハイハイ、お座り、つかまり立ち、伝い歩き、一人立ちの段階を踏んで歩行に繋げる ・園生活を通して食事、睡眠、遊びなど生活リズムの育ちを促す	健康：歩く経験をたくさんしてしっかり歩けるようにする	・便器に座ることに慣れ、自分で排泄ができるようになる ・色々な遊具・教材に触れ、全身や手指を使う遊びをたくさん経験する	・健康的な生活のリズムを身につけ　る ・外で十分に身体を動かし、様々な遊具や用具を使って遊ぶ	・自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を自分でする ・固定遊具や全身を動かす運動に興味を持ち、沢山経験する	・健康的な生活の仕方を知り、見通しを持って行動する ・様々な道具を使い、複雑な運動やルールのある集団遊びを通して身体を動かす	・危険な場所や事物などがわかり、安全について理解して行動する ・生活のけじめをつけたり、健康に過ごすための体力作りの必要性に気づき自分で意識して身体を動かす	アエ
		人間関係：保育士との安定した関係の中で、身の回りに様々な人がいることに気付き、徐々に他の子どもとも関わりをもつ	・保育士の仲立ちにより、他の子どもとの関わり方を少しずつ身につける	・やってはいけないことが分かり我慢することを経験する ・簡単なルールを守って遊ぶ	保育士や友達との関わりの中で我慢をしたり、自分の気持ちを表現したりしながら友達関係を築く	先の見通しができるようになり、仲間と一緒に目的を持った行動を行うようになる	互いに相手を許したり認めたりできるようになり仲間の一人としての自覚や自信をもてるようになる	エカ
教育 身近な人と気持ちが通じ合う《社会的発達》	・応答的な触れ合いや語りかけにより、言葉の理解や発語の意欲が育つ ・特定の保育士との深い関わりにより基本的信頼関係が生まれる	環境：安全で活動しやすい環境での探索活動等を通して様々な感覚の働きを豊かにする	様々な物に触れ合う中で好奇心や探究心をもつ	身近なものに興味をもって関わり、大切にしようとする気持ちをもつ	身近な物や遊具に興味をもって関わり考えたり試したりして、工夫して遊ぶ	日常生活の中で、数量や図形、簡単な標識や文字に関心をもつ	小学生や地域の人とのかかわりを通し、自分の生活に関係の深い情報に興味や関心を持つ	オク
		言葉：保育士の応答的な関わりにより言葉のやりとりを楽しみ、身振りや言葉で気持ちを表そうとする	・保育士を仲立ちとして、友達との言葉のやり取りを楽しむ ・生活に必要な簡単な挨拶が保育士と一緒に言える	・自分の思いを言葉で伝えようとする　・子ども同士、簡単な会話を楽しむ	人の言葉や話に興味や関心を持つとともに経験したことや思いを自分なりに言葉で表現する	・保育士や友達との会話を楽しみ、相手にわかるように話す ・色々な経験を通してイメージや言葉を豊かにする	・人の話を注意して聞き、相手にわかるように話したり、わからないことを尋ねたりする ・日常生活の中で、文字などを使って伝える楽しさを味わう	エクケ
教育 身近なものと関わり感性が育つ《精神的発達》	・生活の中で様々な音、形、色、光、手触りなどを感じて楽しむ ・安心できる環境の下で身近な物に興味・関心をもつ ・保育士が歌うわらべ歌や触れ合い遊びを通して、て手足を動かして喜んだり楽しんだりする	表現：・保育士と一緒に歌やリズムに合わせ体を動かすことを楽しむ ・水、砂、土、紙、粘土等様々な素材に触れ感覚を楽しむ	・生活の中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ ・歌を歌ったり、手遊びや全身を使う遊びを楽しんだりする	・考えたことや感じたことを音や動きなどで表現したり、自由に描いたり作ったりする ・簡単なリズム楽器を使って音楽に親しむ	・さまざまなイメージを膨らませ、描いたり形にしたりし、できたものを友達に見せ認め合う ・友達とひとつの物を創り上げる楽しさを味わう ・楽器の使い方を知り表現することを楽しむ	感じたこと、想像したことを音楽、造形など自由な方法で豊かに表現する	・どのように表現したら相手に伝わるか理解して伝えようとする ・共通の目的に向かって友達と一緒に創り上げることを楽しむ ・身近な社会や自然現象への関心を深め、その不思議さ等に感動し様々な方法で表現する	ウキケコ
食育 食を営む力の基礎	食べることに意欲を持つ ＊年間食育計画参照	自分で食べようとする気持ちを育て、食べることの楽しさを感じられるようにする	・出来るだけ多くの種類の食べ物や料理を味わう ・保育士の声かけで苦手なものも少しずつ食べてみようとする	・食生活に必要な習慣や態度を身につける ・生活と遊びの中で、意欲をもって食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しむ	健康と食べ物の関係について知る	自分の健康に関心を持ち様々な食材を進んで摂ろうとする	・食材と身体の関係を知り興味が持てるようにする ・意欲を持って食に関わる体験を積み重ね食べることを楽しめるようにする	アキ